

## 未来を協創する 高原文化のまち

地域資源を活かす **こゝろ**

町が持つさまざまな魅力や資源を最大限に活かし、酪農や林業の基幹産業をはじめとし、IT産業や再生可能エネルギーなど新たに取り組んできた分野を含めた地域産業の高付加価値化とブランド化をより一層推進するため

- ▶ 基幹産業の新たな展開による高収益産業の実現
- ▶ 交流・連携の強化による地域産業の育成
- ▶ 地域産業を活かした起業支援と雇用の確保

に取り組み、山村にある力・魅力をより輝かせ、新規就農や起業家支援、6次産業化などにより若者の雇用創出を図り、交流人口の拡大と移住・定住を促進し、活力と賑わいのあるまちを目指します。

次代を担う子どもたちが、さまざまな経験を通して、将来への夢を思い描ける機会の創出に努めるとともに、町の魅力や地域の良さを再認識し、次の世代へ継承していくための新しい時代に即した教育の充実を図るため、

- ▶ 子どもを安心して産み育てられる子育て支援
- ▶ 学び輝く人づくりと葛巻を愛する人材育成
- ▶ 誰もが生きがいを持って暮らすことができる環境づくり
- ▶ 協創のまちづくりの推進

などに取り組み、少子高齢化が進む中で、子どもから高齢者まで全ての町民が豊かなところを持ち、共に支え合う思いやりのある地域社会の確立を進めます。

いきいきと輝き続ける **ひと**

町が持つ自然、空間、ゆとりを大切にしながら、町民がここから安らぐ快適な生活を送ることができるよう、住環境の整備を推進するとともに、安全・安心を実感できる生活基盤の充実を図るため、

- ▶ 快適に暮らせる生活環境の創出
- ▶ 自然と共生し地域の豊かな資源を活用するまちづくり
- ▶ こころ穏やかに安全安心に暮らせる地域社会づくり

などに取り組み、町民一人ひとりが主役となり住み続けたいと思えるまちづくりに努めます。

誰もが住みたくなる **まち**

## まちづくりの 基本目標

平成28年度からスタートした町総合計画では、これまで先人が築き上げてきた、全ての財産と先人のたくましい意志を受け継ぎ、町民一人ひとりがまちづくりの主役として自助・共助・公助の精神で「幸せを実感できるまち」を創造し、夢と誇りを持ち「住み

続けたい」と思えるまちづくりに取り組むこととしております。「新たな発想」「資源の探求」「自立への挑戦」「協働から協創へ」の4つの姿勢を大事にし、ひとや地域、資源を効果的に結びつけ、「地域資源を活かすしごと」「いき

いきと輝き続けるひと」「誰もが住みたくなるまち」の3つの基本目標を柱に掲げ、希望に満ちたまちづくりを進めるため「未来を協創する 高原文化のまち」を目指すべき将来像とし、他に誇りうる町に発展させてまいります。

## 人口減少問題に 果敢に挑戦

移住定住、子育て支援、交流人口拡大に力

平成28年度は、地域資源とその機能を最大限に活用した地方創生の取り組みが評価され、県内初、自治体として全国で2番目となる「みどりの文化賞」を受賞したほか、46年ぶりとなる「希望郷いわて国体」の開催、さらには、NHKや民間放送事業者の全国放送の番組で、これまでの取り組みが紹介されるなど、町が持つ魅力を、より効果的に情報発信をしたことで、多くの皆さまから高く評価をいただいたところであります。町が抱える最重要課題である「人口減少問題」に果敢に挑んでいく中で、町の魅力や

取り組みを、しっかりと情報発信していくことは大事な取り組みであり、今後の交流人口や移住・定住者の増加にもつながります。こうしたことから、町の魅力をより一層高め、効果的に情報を発信していくため、これまで以上に町民と行政が一体となった取り組みを進めるのはもちろんのこと、まさに「まちづくりは人づくり」でもありますので、町づくりに熱意と意欲を持った人材の育成と招へいにも努め、町が持つ地域資源を最大限に活かす取り組みを積極果敢に行います。

## 平成29年度

# 施政方針

平成29年度の町政の方向を決める町議会3月定例会議は3月3日から14日まで行われました。初日の3日、鈴木重男町長がまちづくりの重要施策について、力強く施政方針を述べました。その内容を紹介します。





# まちづくりの 施策

町総合計画における平成28年度からの4年間の前期計画では「ひと・まち・しごとを紡ぎ 一歩先行く山村 くずまき」をキャッチフレーズに掲げ、特に町の最重要課題である「人口減少問題」の解決へ向け、20代・30代の若者を町に定着させるため「教育

・子育て環境の充実」「若者世代の確保対策」「6次産業化と起業家支援」に重点を置いた取り組みを進めることとしております。

その他の分野におきましても、長期的ビジョンを持ちながらも、短期間で具体的な成果が実感できる事業に取り組み

町ホルスタイン共進会で出品牛をリードする未来の酪農家たち。新葛巻型酪農構想を推進し、高収益産業の実現に努めます



〔4〕 広報くずまき・平成29年4月1日

## 施策項目

- 1 基幹産業の新たな展開による高収益産業の実現
- 2 交流・連携の強化による地域産業の育成
- 3 地域産業を活かした起業支援と雇用の確保
- 4 子どもを安心して産み育てられる子育て支援
- 5 学び輝く人づくりと葛巻を愛する人材育成
- 6 誰もが生きがいを持って暮らすことができる環境づくり
- 7 協創のまちづくりの推進
- 8 快適に暮らせる生活環境の創出
- 9 自然と共生し地域の豊かな資源を活用するまちづくり
- 10 こころ穏やかに安全安心に暮らせる地域社会づくり
- 11 広域行政の推進と行政運営の合理化

## 策施 1

### 基幹産業の新たな展開による高収益産業の実現

▼ 基幹産業である農林業において、効率的かつ合理的で収益性の高い安定した経営体の育成に取り組むとともに、意欲ある若手後継者や新規就業者、林業労働者の確保・育成に努めます。

▼ 対応した新農山村モデルとなる取り組みや、農地の集積と集約化、遊休農地の解消と生産コストの低減に取り組みます。

▼ 林業では、公益的機能が発揮できる森林整備を推進し、地場産材の利活用、緑とのふれあいの促進などにより森林資源を日常生活に活かす工夫に努めます。

▼ また、農林産物の1次産品の供給だけに終わることなく、6次産業化の取り組みや農工商連携の取り組みなどにより高付加価値化を図り、高品質な「くずまきブランド」の定着を図られるような取り組みを進めます。



〔5〕 平成29年4月1日・広報くずまき

▼ 農業後継者を育成するための「農畜産業推進研修助成」

▼ 中心的な経営体の育成と地域資源を活用した効率的な畜産を実現するため「いわて地域農業マスタープラン実践支援事業」

▼ 農業者経営環境の充実を図るための「中山間地域総合整備事業 江刈地区」

▼ 森林資源の活用を図る「公有林整備事業」

## 策施 2

### 交流・連携の強化による地域産業の育成

▼ 移住・定住人口の拡大を図るためには、都市と農村との地域間交流やグリーン・ツーリズム、スポーツツーリズムなどの多様な分野における交流の推進のほか、若年層の旅行需要喚起や葛巻ファンの獲得などが重要であり、観光・交流・連携の強化に努めます。

▼ また、経営品質の向上による個店への誘客を図る魅力づくりや後継者の育成、技術の

▼ 継承、創業支援など商工業の振興を図り、地元購買率の向上や地域経済の活性化を進めます。

▼ 継承、創業支援など商工業の振興を図り、地元購買率の向上や地域経済の活性化を進めます。

▼ 継承、創業支援など商工業の振興を図り、地元購買率の向上や地域経済の活性化を進めます。

▼ 継承、創業支援など商工業の振興を図り、地元購買率の向上や地域経済の活性化を進めます。

▼ 継承、創業支援など商工業の振興を図り、地元購買率の向上や地域経済の活性化を進めます。

▼ 継承、創業支援など商工業の振興を図り、地元購買率の向上や地域経済の活性化を進めます。

## 策施 3

### 地域産業を活かした起業支援と雇用の確保

▼ 求職と求人が噛み合わない雇用のミスマッチなど、労働力の確保や雇用の場の確保が難しい状況にある中、町内事業所への雇用支援のほか、新

▼ 規起業家への支援、企業誘致、農工商連携による経営革新などを進め、地域経済の活性化に努めます。

▼ 規起業家への支援、企業誘致、農工商連携による経営革新などを進め、地域経済の活性化に努めます。

▼ 規起業家への支援、企業誘致、農工商連携による経営革新などを進め、地域経済の活性化に努めます。



〔5〕 平成29年4月1日・広報くずまき



〔5〕 平成29年4月1日・広報くずまき

▼ 規起業家への支援、企業誘致、農工商連携による経営革新などを進め、地域経済の活性化に努めます。

〔5〕 平成29年4月1日・広報くずまき



## 策施 4

### 子どもを安心して産み育てられる子育て支援

少子化、核家族化の進行に伴い、家庭や地域で支え合う子育て環境の充実が求められており、多様な保育ニーズに対応できる環境整備に努めます。

安心して医療サービスが受けられるよう、総合的な支援に努めます。

また、子育て相談や経済的負担軽減などの援助体制の充実を図ることで、子育てと仕事が両立できる環境づくりに努めるとともに、専門医療機関での受診体制など妊産婦が

安心して子育て世代が定住できる環境を提供するための「子育て支援住宅整備事業」

さらに、時代の変化に対応した就学前教育の充実を図り、児童福祉施設と小中学校との連携強化を図ります。

「主な新規事業」

「主な継続・拡充事業」

「主な継続・拡充事業」

## 策施 5

### 学び輝く人づくりと葛巻を愛する人材育成

引き続き、連携型中高一貫教育の充実を図るほか、保育園、小学校を含めた教育連携のさらなる強化と、国際理解・情報・キャリア教育の充実を図り、一貫した学力向上と学習指導の充実を図るほか、学校規模の適正化や教育施設環境の充実に取り組みます。

また、葛巻高校における山村留学の推進や大学進学に向けた学習レベルの向上、育英制度の充実などを図り、誰もが教育を受けることができる機会の確保に努めます。

また、施設機能が向上した体育施設の有効活用を図り、スポーツツーリズムの推進に努めるほか、町民の健康増進

と体力向上のため、スポーツを通じた「夢のあるまちづくり」に取り組み、トップアスリートのプレーに直接触れる機会を創出し、生涯スポーツ、競技スポーツの推進を図ります。

#### 【主な新規事業】

- ▼葛巻高校生を対象にした学習塾を設置するための「公営学習塾開設準備業務」
- ▼山村留学生専用の寮建設に向けた「山村留學生寮等整備調査業務」
- ▼建築から30年以上を経過した校舎の快適性を向上するた

#### 【主な継続・拡充事業】

- ▼音感教育や情操教育を養うため、保育園などで実施しているバイオリン教室を小学生にも継続させるための「親子バイオリン教室事業」
- ▼子どもから高齢者まで誰もがスポーツを楽しめる人工芝

#### 【主な継続・拡充事業】

- ▼学校の教育の授業力のブラッシュアップのための「学校教育アドバイザー派遣事業」
- ▼複式学級における教育の充実を図るための「学力向上支援員事業」
- ▼葛巻高校の魅力ある高校づくりに向けた「高等学校教育振興協議会事業費補助金」

#### 【主な継続・拡充事業】

- ▼学校教育の授業力のブラッシュアップのための「学校教育アドバイザー派遣事業」
- ▼複式学級における教育の充実を図るための「学力向上支援員事業」
- ▼葛巻高校の魅力ある高校づくりに向けた「高等学校教育振興協議会事業費補助金」

## 策施 6

### 誰もが生きがいを持って暮らすことができる環境づくり

町民一人ひとりが健康に関心を持ち、健康づくりに取り組む環境を築くため、各種検診、保健サービス活動の一層の充実と受診率の向上に取り組む。町民の健康維持と医療費の抑制、適正化を図ります。

また、地域医療の充実と救急医療の確保を図るため、医師などをはじめとした医療・介護関係者の確保と育成に努めるほか、地域が連携した自殺予防を推進するため、ゲートキーパーなど人材の育成強化に取り組み、こころの健康相談体制の充実を図ります。

福祉関連では、住民の支え合いによる地域福祉社会の実現を目指し、高齢者や障がい者の生活支援、自立支援、自立助長などの相談・支援体制の充実に取り組みほか、高齢者が安心して暮らせる健康づくり・介護予防を推進するとともに、地域包括ケアシステムの確立に努めます。

また、職場実習を受け入れた町内企業に助成する「障がい者職場実習事業」

#### 【主な新規事業】

- ▼要配慮者に対するきめ細かな送迎を行い、受診機会の確保と受診率の向上を図るための「検診受診困難者送迎事業」
- ▼路線バスの利用が困難な高

#### 【主な新規事業】

- ▼障がい者の雇用機会を促進

#### 【主な継続・拡充事業】

- ▼障がい者の雇用機会を促進

#### 【主な継続・拡充事業】

- ▼障がい者の雇用機会を促進



歌の練習に励む五日市保育園の子どもたち。子育て世代の経済的負担を軽減するため、保育料の第3子無料化に加え、第2子の無料化を実施します



3月16日に行われた平成29年度葛巻高校入学者の合格発表では、山村留學生3人を含む49人が合格。魅力ある高校づくりへ、さらに支援を拡充します



ゲートボールやテニス、フットサルなど多目的にスポーツを楽しむ人工芝のスポーツコートを整備した運動公園に整備します



生活習慣病予防健診の受診率向上のため、健診の無料化に加え、障がいがある方などには地区の健診会場までの送迎車両を運行します



## 策施 7 協創のまちづくりの推進

平成18年度から取り組んできた「協創のまちづくり」をさらに一歩前進させ、住民と行政が共に創り上げるまちづくりを推進するとともに、住

民参画機会を拡充し、参加意識や協創意識の醸成を図ります。  
また、地域活動の推進や相互連携、新たな地域組織設立

などの取り組みを支援するとともに、地域づくりを担う人材の育成に努めるほか、あらゆる分野において、男女が共に支え合う環境づくりに努め、女性が社会に参画できる機会と男女共同参画意識の醸成に努めます。

▼人口減少、高齢化の進展に對する今後の集落のあり方などを検討する「過疎地域集落再編整備事業調査設計業務」  
【主な継続・拡充事業】  
▼コミュニティ活動の推進と活性化のための「自治会活動交付金」と「協創のまちづくり事業」

## 策施 8 快適に暮らせる 生活環境の創出

移住者・定住者の受け入れを進めていくためには、住環境の充実が不可欠である一方で人口減少に伴い空き家の増加が問題となっていることから、空き家の有効活用や町営・町有住宅などの充実を図ります。

また、老朽化している水道施設の計画的な更新や生活排水処理施設の普及を図るほか、ごみの広域処理化やリサイクル

また、情報通信基盤の適正管理に努めるほか、効率的・効果的な行政サービスの提供手段として情報化による利活用の促進など、情報の利活用に向けた取り組みを進めます。  
【主な新規事業】  
▼町営住宅の経年劣化による損壊箇所を適切に修繕し、長寿命化を図る「堀の内住宅長寿命化修繕工事」  
▼くずまき斎苑の延命化を図るための「くずまき斎苑大規模改修工事」

【主な継続・拡充事業】  
▼町中心部のバイパス道路機能を有する「町道茶屋場田子線道路改良事業」  
▼早期完成を目指す「江刈簡易水道整備事業」  
▼水洗化率の向上のための「水洗化普及支援事業」と「町整備型浄化槽整備推進事業」  
▼道路・橋りょうなどの維持管理に向けた「道路・橋りょう長寿命化修繕工事」  
▼住民の移動手段の確保のための「広域生活バス路線運行維持対策事業」と「バス路線運行拡大支援対策事業」

## 策施 9 自然と共生し地域の豊かな資源を活用するまちづくり

町の財産である豊かな自然環境を後世に引き継いでいくために、自然環境の保護・保全に努めるとともに、環境教育に積極的に取り組み、町民みんなで守り育てる意識の高

揚に努めます。  
また、太陽光・風力のほか、畜ふん、生ごみ、間伐材などを利用したバイオマス資源による発電など、再生可能エネルギーの導入を推進し、二酸

化炭素排出量の削減に努めるとともに、安価なエネルギー供給ができるようエネルギーの地産地消に向けた取り組みを推進します。

【主な継続・拡充事業】  
▼循環型社会、低炭素社会の実現に向けた「エコ・エネ総合対策事業費補助金」

## 策施 10 こころ穏やかに安全安心に暮らせる地域社会づくり

複雑多様化する災害に対し、迅速かつ的確に対処し、効果的・効果的な活動ができるよう消防防災施設や安全装備品の充実強化を図るとともに、地域に即した消防団編成を踏

まえた団員確保に努めます。  
また、高齢化、国際化、車社会による広域化、情報化社会などの進展により、特に高齢者や青少年が巻き込まれる交通事故や犯罪が急増して

いることから、関係団体と協力し、指導および啓発活動に努めます。  
【主な新規事業】  
▼自然災害に迅速かつ、的確な対応を行うため「超高密度気象観測・情報提供サービス」への加入利用  
▼各種災害発生時において、大量の防災資機材を円滑に搬

送するため「資機材搬送車」の購入  
【主な継続・拡充事業】  
▼若年層および機能別団員の確保に向けた「消防団員確保対策事業」  
▼複雑多様化する災害活動から消防団員を守るための「安全装備品整備事業」

## 策施 11 広域行政の推進と 行財政運営の合理化

人口減少や少子高齢化などにより、町を取り巻く社会情勢が変化中、住民からの行政ニーズも多様化しており、時代に即した行政サービスを提供していくために、安定的な財政運営を維持し、効率的かつ持続可能な行政運営を進

めます。  
また、盛岡広域中核都市圏構想の推進や広域市町との連携強化を図り、さらなる行政サービスの向上と事務の効率化に努めます。  
【主な新規事業】  
▼新庁舎建設に係る基本的条

件を定めるための「新庁舎建設基本構想策定支援業務」  
▼勤労世帯や若者などが納税しやすい環境を充実し、納税意識の高揚と徴収事務の効率化を図るための「コンビニ収納システム導入経費」  
▼国民の利便性向上と行政手続きの効率化を図るために導入された「マイナンバー制度の普及とマイナンバーカード

の取得推進」  
▼国保制度改革により、平成30年度から実施される広域化に伴って移行するため準備を進める「平成30年度国保都道府県化の推進」  
【主な継続・拡充事業】  
▼町の決算に係る財務諸表への移行のための「地方公会計財務書類作成支援業務」



昭和49年に建設され、老朽化が著しい役場庁舎。新庁舎建設に向けた基本構想を策定します



訓練の成果を競う町の消防操法競技会。災害活動から消防団員を守るため安全装備品の充実を図るとともに消防団員の確保に努めます



町中心部のバイパス道路機能を有する町道茶屋場田子線。早期完成を目指し、改良工事を進めます(写真は田の沢地区)



平成7年に建設された、くずまき斎苑(火葬場)。経年劣化している炉を中心に改修工事を行い、施設の延命化を図ります